

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

外郭団体名	所管課	ページ
(一財) 岡山市勤労者サポートプラザ	産業観光局商工部 産業振興・雇用推進課	1
(公財) 岡山市公園協会	都市整備局都市・交通部 庭園都市推進課	4
(公財) 岡山市シルバー人材センター	保健福祉局高齢福祉部 地域包括ケア推進課	7
(公財) 岡山文化芸術創造	市民生活局スポーツ文化部 文化振興課	10
(一財) 岡山市水産協会	産業観光局農林水産部 農林水産課	13
(公財) 岡山市ふれあい公社	保健福祉局保健福祉部 福祉援護課	16
(株) 岡山コンベンションセンター	産業観光局観光部 プロモーション・MICE推進課	21
岡山市場冷蔵(株)	市場事業部	25
岡山港埠頭開発(株)	都市整備局道路部 道路港湾管理課	27
岡山市土地開発公社	財政局財務部 財産活用マネジメント推進課	30
岡山都市開発(株)	都市整備局都市・交通部 市街地整備課	33
(一財) 岡山市スポーツ協会	市民生活局スポーツ文化部 スポーツ振興課	36
(公社) おかやま観光コンベンション協会	産業観光局観光部 観光振興課	40
(社福) 岡山市社会福祉協議会	保健福祉局保健福祉部 福祉援護課	44

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	一般財団法人岡山市勤労者サポートプラザ		
基本事項			
当該団体所管課	産業観光局商工部産業振興・雇用推進課	基本財産・資本金等(千円)	100,000
出資額(千円)	100,000	出資比率	100%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	1	0
役員(非常勤)		2	0	13	15
正規職員		0	0	2	2
合計		2	1	15	18

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		10,042	△1,241	△3,260	△2,019
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/純資産+負債)		94.3	96.0	92.1	△3.9	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		4.3	4.2	4.1	△0.1	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	0	0	0	
指定管理料	0	0	0		
補助金	5,000	5,000	5,000		
負担金	0	0	0		
合計	5,000	5,000	5,000		
経常収益		115,947	117,795	120,586	
市からの財政支出の割合		4.3%	4.2%	4.1%	

令和4年度の経営概況

退職給付引当金を一括計上したため、当期収支は赤字となったが、単年度の事業活動収支は黒字である。また、会員数増加により会費収入は増えており、経営的には安定している。

3 中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和3年度～令和7年度）

目標①	会員加入促進員による事業所訪問や広報活動を積極的に推進することで会員数の維持、拡大に努め、働き方改革やコロナ禍による生活様式、労働環境の変化に対応し、創意工夫を凝らした企画立案に努め、スケールメリットを活かしたサービス内容の拡充を図る。					
取組内容	コロナ禍により、会員加入促進員の営業活動が制限され、また景況悪化による退会者の増加が予想されるが、今後とも働き方改革やコロナ禍による新たなニーズを見定め、会員数の維持、拡大につながるような事業展開を図るため、サービス内容の精査と見直しを進めていく。					
指標①	会員数：毎年度200人増（200人×5カ年＝1,000人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		17,800	18,000	18,200	18,400	18,600
実績	17,732	18,299	18,527			
指標②	新規入会事業所数：毎年度30事業所（30事業所×5カ年＝150事業所）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		30	30	30	30	30
実績	29	37	25			
指標③	事業利用件数：毎年度1,000件増（1,000件×5カ年＝5,000件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		43,000	44,000	45,000	46,000	47,000
実績	40,114	44,000	55,682			

目標②	効率的な事務事業の遂行と経営の安定化を図り、事務局体制の整備、充実に努める。					
取組内容	事業支出の中で、管理費の面では、これまでも出来る限りの経費節減努力を行ってきたところである。今後、コロナ禍の影響で全体的に会員のサービス利用減少が見込まれるところであるが、既存事業の拡充や利用促進を図るとともに、引き続き経費の節減と管理費割合の抑制に努めていきたい。					
指標①	管理費割合：毎年度0.3%圧縮（0.3%×5カ年＝1.5%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		24.7%	24.4%	24.1%	23.8%	23.5%
実績	24.6%	22.6%	22.4%			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
<p>目標① 会員加入促進員による事業所訪問や広報活動を積極的に推進することで会員数の維持、拡大に努め、働き方改革やコロナ禍による生活様式、労働環境の変化に対応し、創意工夫を凝らした企画立案に努め、スケールメリットを活かしたサービス内容の拡充を図る。</p>	◎	<p>収入源である会員数(指標①)は、目標を上回って増加している。また、事業利用件数(指標③)についても、働き方改革やコロナ禍によるニーズの変化に対応した事業を展開したことにより、目標を上回った。</p>
<p>目標② 効率的な事務事業の遂行と経営の安定化を図り、事務局体制の整備、充実に努める。</p>	◎	<p>事業活動支出合計に占める管理費割合は、目標値より低く抑えられており、目標を達成している。</p>

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>会員拡大等の取組で着実な成果が表れており、現在の会員数の推移であれば、経営面で問題はないと思われるが、引き続き安定的に経営を継続するため、会員数の拡大等を図ることは重要である。また、事業面では、今後も労働環境等の変化が続くことが予想されるため、会員・事業所のニーズの把握に努め、事業展開に反映させることが求められる。</p>
--	---

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益財団法人岡山市公園協会			
基本事項				
当該団体所管課	都市整備局 都市・交通部 庭園都市推進課	基本財産・資本金等(千円)	114,000	
出資額(千円)	57,000	出資比率	50.0%	

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)	1	1	0	2
	役員(非常勤)	3	0	7	10
	正規職員	0	0	9	9
	合計	4	1	16	21

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)	2,522	2,559	2,379	△180	0以上
	累積欠損金額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率(純資産/純資産+負債)	68.3	74.8	65.8	△9.0	50以上
	財政的依存度(市財政支出/経常収益)	82.0	81.8	77.4	△4.4	前年度比減

(単位:千円)

市からの 財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度の主な内容
	委託料	2,643	837	1,364	・百間川 工作物撤去訓練 ・百間川 占用物・占用施設保全管理
	指定管理料	500,091	485,430	485,430	・浦安総合公園他6公園の管理運営
	補助金(不課税)	24,170	18,760	19,000	・指定管理者業務継続支援金(コロナウイルス) ・岡山市エネルギー費高騰対策支援金
	負担金	507	660	1,688	・緑化推進事業負担金
	合計	527,411	505,687	507,482	
経常収益		643,437	618,326	655,906	
市からの財政支出の割合		82.0%	81.8%	77.4%	

令和4年度の経営概況

新型コロナウイルス感染症の影響による当初予算比での利用料金の若干の未達に加え、電気・ガス料金等の高騰により、光熱水費の大幅増があったものの、委託費等の減少、効率的な経費支出に努めたこと、また岡山市からの支援金があったことから、令和3年度と同様黒字を確保。これは中期経営計画に基づく計画的な事業執行の成果と捉え、今後も引き続き効率的な運営に努めていく。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	施設利用の拡大					
取組内容	HPや広報誌等、SNS(半田山植物園でのInstagram及びyoutube)を活用した情報提供・発信により、新規利用者・リピーターの拡大に努め、利用者満足度の向上による施設利用の拡大を図る。					
指標①	利用料金収入 (単位:千円) ※税込					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		126,718	125,974	129,800	129,800	129,800
実績	89,873	87,477	121,388			
指標②	利用者数 (単位:千人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1,560	1,560	1,560	1,560	1,560
実績	1,211	1,123	1,254			

※除く、駐車台数

目標②	緑化推進活動(自主事業・教室事業の拡充)					
取組内容	公園協会の重点事業として、多くの市民が関心や興味を持ち参加頂ける専門チームによる緑化関連事業の横軸展開や、管理施設の特徴を生かした緑化事業を実施。					
指標①	緑化4施設横軸事業 実施件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		30	50	50	50	50
実績	0	27	50			
指標②	花とみどりの楽校事業・花とみどりの福祉事業 実施件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		40	40	40	40	40
実績	20	27	25			
指標③	市民公民館講座 実施件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		20	20	20	20	20
実績	14	12	19			

目標③	健全な財政(総人件費比率内での施設管理)					
取組内容	外郭団体改革方針に基づき、市に準じた人事制度から協会独自の人事制度への改革として、平成30年4月には第一次改正として、評価による昇給・昇格、地域手当・住宅手当の廃止、退職金の協会積立(勤続年数による変動)を「中小企業退職金共済」に変更等の改正を実施。令和3年4月には、第二次改正として一般職・60歳、契約職・65歳の定年を一律65歳に変更。延長に伴う人件費抑制に向け、60歳に達した翌年の給与表の新設や職群異動ルールを制定。また、令和4年度も組織力の向上を目的とした職群間の待遇格差解消や役割に応じた処遇等の人事制度見直しを継続したほか、10月の岡山県最低賃金改訂に合わせた時給改正を行った。					
指標①	総人件費比率(%) <役員報酬～退職給付費用> ※人件費/経常費用					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		46.8	46.7	47.2	46.9	47.0
実績	48.5	48.3	46.8			

目標④	社会貢献への貢献 (障がい者就労施設等からの花苗等の調達・業務委託)					
取組内容	公園内への植栽用や自主事業用の花苗等の購入や清掃作業等を委託					
指標①	購入・委託総額 (単位:千円) ※税込					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		4,100	4,100	4,200	4,200	4,200
実績	4,181	4,332	5,079			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 施設利用の拡大 指標① 利用料金収入	×	新型コロナウイルス感染症による影響が小さくなったこともあり、平時の施設運営を前提とした当初目標に対し、▲3.7%のわずかな未達となる。
目標① 施設利用の拡大 指標② 利用者数	×	新型コロナウイルス感染症による影響が少なくなったものの、多くの方が参加する大会の減により、当初目標に対し、▲19.6%と利用料金収入に比べて目標との乖離が大きくなった。
目標② 緑化推進活動 (自主事業・教室事業の拡充) 指標① 緑化4施設横軸事業 実施件数	◎	市民への緑化事業の一層の周知、事業の効率的・効果的な実施に向け、令和3年4月より専門チームを立ち上げ、緑化4施設で共通する緑化講習会や多くの市民に興味をもっていただけの事業を計画し実施。令和4年度は計画通り50の事業を実施し、849名の方に参加を頂く。
目標② 緑化推進活動 (自主事業・教室事業の拡充) 指標② 花とみどりの楽校事業・ 花とみどりの福祉事業 実施件数	×	小学校・福祉施設を中心にした楽校・福祉事業は、4月～7月の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により当初計画に対し未達となる。
目標② 緑化推進活動 (自主事業・教室事業の拡充) 指標③ 市民公民館講座 実施件数	×	
目標③ 健全な財政 (総人件費比率内での施設管理) 指標① 総人件費比率(%)	○	令和4年10月からの最低賃金改訂等の影響により、目標に対し、総人件費比率は0.1ポイントと若干のプラスとなる。
目標④ 社会貢献への貢献 (障がい者就労施設等からの 花苗等の調達・業務委託) 指標① 購入・委託総額	◎	令和4年度も引き続き、緑化4施設横軸事業での利用や自主事業での利用に取り組んだことから、当初目標を上回る。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で当該団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、当該団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による影響が少なくなったものの、引き続き施設利用の低迷や自主事業・行事の中止が相次いでいる中、電気・ガス料金等の高騰による影響もあり、目標が達成できていない部分があるが、財政は健全な状態を維持していることから、安定的な経営及び事業運営ができていますと評価できる。今後は施設の利用回復・利用拡大や電気・ガス料金等の高騰への対応が課題となると考える。</p>
---	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	(公財)岡山市シルバー人材センター		
基本事項			
当該団体所管課	保健福祉局高齢福祉部 地域包括ケア推進課	基本財産・資本金等(千円)	51,000
出資額(千円)	50,000	出資比率	98%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	0	0
役員(非常勤)		1	1	10	12
正規職員		0	1	10	11
合計		1	2	20	23

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		64,463	58,143	53,626	△4,517
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/純資産+負債)		66.8	73.7	77.8	+4.1	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		33.7	33.8	35.4	+1.5	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	231,226	231,965	239,340	・自転車等放置防止啓発指導業務 124,608 ・市立幼小中・中高一貫の樹木管理 21,450 ・ペットボトル回収業務 19,149
指定管理料	7,194	8,860	8,860	・浅越スポーツパーク管理業務 8,860 指定管理期間(令和3~7年度)	
補助金	27,820	27,820	27,820	運営費補助金27,820	
負担金	0	0	0		
合計	266,240	268,645	276,020		
経常収益		790,157	794,541	780,665	
市からの財政支出の割合		33.7%	33.8%	35.4%	

令和4年度の経営概況

売上げは前年を下回る結果となっているが、草刈り・剪定部門の安定的な売上げや派遣事業の利益増加により大幅な減少とはなっていない。また、経費も売上げに相応して削減されていることから、経常利益は昨年度に引き続いて黒字を確保し、経営は安定している。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	会員数の拡大と育成					
取組内容	①1会員1人入会促進運動の推進 ②入会率の向上及び広報活動の強化 ③多様な就業機会の確保と退会の抑制 ④女性会員の活躍の場の充実 ⑤高齢会員への対応					
指標①	会員数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1,540	1,560	1,580	1,600	1,620
実績	1,520	1,464	1,451			

目標②	就業機会の拡大と開拓					
取組内容	①ニーズに合った就業機会の提供 ②幅広い職種へのチャレンジや転換の呼びかけ					
指標①	就業率(請負・委任事業)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		73.5	73.5	73.6	73.6	73.7
実績	73.4	73.5	73.7			
指標②	就業率(請負・委任事業及び労働者派遣事業)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		83.9	83.9	84.0	84.0	84.1
実績	83.8	83.8	86.5			

目標③	経営状況の安定化					
取組内容	①就業開拓活動の活性化 ②積極的な広報活動の推進 ③多様なニーズに対応できる人材の育成の確保 ④事業所等への受注に向けた働きかけ ⑤適正就業の推進					
指標①	契約金額(請負・委任事業) (単位:百万円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		706	708	710	712	714
実績	704	713	694			
指標②	契約金額(労働者派遣事業) (単位:百万円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		141	143	145	147	149
実績	139	124	137			

目標④	安全就業の推進					
取組内容	①定期的な安全就業パトロールの実施 ②事故検証と事故防止情報の共有 ③安全就業講習会の実施					
指標①	設定なし					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 会員数の拡大と育成	△	会員数は再雇用制度の定着、会員の高齢化に伴う退会などにより、依然として低迷している。各支部役員が中心となりちらし配布など行っているが、引き続き会員の拡大が課題である。シルバー人材センターを生きがいや仲間づくりの場として認識している会員も増えていることから、今後のPRの仕方に工夫をこらして会員数を拡大していくことが必要である。
目標② 就業機会の拡大と開拓	◎	複数の会員によるローテーション就業の促進、長期就業の解消などのワークシェアリングを推進し、より多くの会員への就業機会の確保につとめている。また、企業等への労働者派遣事業の拡大に努め、契約金額、件数ともに増加させることができています。今後も、安定した就業先の確保に向けて就業開拓を強化する等より一層の取り組みをすすめ、会員に対する幅広い就業機会の提供を図る必要がある。
目標③ 経営状況の安定化	○	全体の契約金額が前年度を下回っている一方で、剪定、草刈りによる売上げの確保と派遣事業の利益を増加させることができています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響で経済状況が回復していくことが期待されているが、原料高による影響も看過できない状況である。会員の就業の質の向上を目指し、各研修・講習の充実を図るほか、民間事業所等を訪問し、受注できる仕事の相談・開拓を行う必要がある。
目標④ 安全就業の推進	○	会員の就業中の事故防止のために、安全教育研修や就業現場への安全パトロールの強化などが行われている。ただし、事故ゼロの達成には至っていないことから、引き続き、一層の安全教育の充実、安全意識の向上に向けた取り組みが必要である。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>会員数の減少は一番の課題であるが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、今後は会員増強のためのPR機会を増やしていくとともに、PRの仕方に工夫をこらし、会員増強に向けた活動を行っていくことが必要である。複数の会員によるローテーション就業の促進、長期就業の解消などのワークシェアリングを推進することで、より多くの会員への就業機会の確保に努めることができています。一方で安全就業については、研修を引き続き実施し、会員の事故防止により一層努めていく必要がある。会員のスキルアップにより、就業機会の確保・拡大につながることを期待するとともに、就業開拓を強化し、幅広い就業機会の提供を行っていただきたい。</p>
---	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益財団法人岡山文化芸術創造		
基本事項			
当該団体所管課	市民生活局スポーツ文化部 文化振興課	基本財産・資本金等(千円)	526,400
出資額(千円)	454,459	出資比率	86.3%

1 役員・職員の状況

令和5年3月31日 現在

(単位:人)

	市職員	市退職者	その他	合計
役員・職員数	役員(常勤)	0	1	2
	役員(非常勤)	1	1	7
	正規職員	0	0	16
	合計	1	2	25

2 財務の状況

(単位:千円, %)

	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準	
主要財務 データ(決算)	当期一般正味財産増減額(当期収支)	△35,482	3,354	△9,058	△12,412	0以上
	累積欠損金額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率(純資産/純資産+負債)	77.9	73.5	78.7	+5.2	50以上
	財政的依存度(市財政支出/経常収益)	84.8	85.5	82.5	△3.0	前年度比減

(単位:千円)

	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
市からの 財政支出	委託料	49,111	47,828	53,968	おかやま文化芸術振興事業、 岡山市ジュニアオーケストラ運営事業
	指定管理料	158,568	350,454	434,568	岡山シンフォニーホール 岡山芸術創造劇場
	補助金	1,400	6,900	1,400	岡山シンフォニーホール事業
	負担金	221,617	177,221	82,779	おかやま国際音楽祭、岡山フィルハーモニック管弦 楽団運営事業
	合計	430,696	582,404	572,715	
経常収益		507,608	681,231	694,091	
市からの財政支出の割合		84.8%	85.5%	82.5%	

令和4年度の経営概況

令和5年9月の岡山芸術創造劇場開館に向けて職員数を増やし(R3年度末50名→R4年度末66名)、運営している。
事業拡大を支える法人運営事業での財源不足が財団の収支状況に影響しているが、R5年度においては赤字解消の見込みであり、引き続き組織・事業体制を整えながら効率的な運営に努めたい。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	情報発信、他都市施設との交流やネットワークづくり					
取組内容(1)	ネットワーク事業の拡充として、他都市施設との連携事業回数増を図る。					
指標①	他都市施設との交流やネットワークづくりを拡充(公演数)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		10	15	20	25	30
実績	4	2	10			
指標②	岡フィル等の依頼公演の充実(公演数)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		40	45	50	55	60
実績	22	21	47			
取組内容(2)	ICTを活用したホームページ等での広報活動を積極的に行い、新たな顧客(利用者・チケット購入者・事業参加者)の獲得に努める。					
指標①	法人ホームページのページビュー数の拡大(アクセス解析)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		60,000	70,000	80,000	90,000	100,000
実績	51,403	170,360	112,609			
指標②	岡山シンフォニーホールホームページのページビュー数の拡大(アクセス解析)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		400,000	450,000	500,000	550,000	600,000
実績	371,414	544,352	586,375			

目標②	多世代交流、担い手育成、鑑賞機会の提供、文化芸術活動への支援・研究等の実施					
取組内容	レベルの高い指導による講座、公演等で、多種・多彩な文化芸術ジャンルの技能・知識の向上と豊かな情操や、コミュニケーション能力を養い、地域の文化活動を担う人材や団体、文化芸術の担い手育成に努める。					
指標①	プロ講師による基礎から学ぶ講座、ワークショップ及び発表公演数の拡大					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		120	140	160	180	200
実績	106	189	241			
指標②	岡フィル等の岡山県内公演回数(公演数) (定期演奏会、第九演奏会、スクールコンサート、ハッピーハートフルコンサート等)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		80	85	90	95	100
実績	77	65	79			

目標③	施設の利用促進、職員のスキルアップ、法人の体制強化					
取組内容(1)	各施設の利用促進に向けたサービス・PR活動を積極的に行い、新たな顧客の獲得に努めるとともに、施設利用者に対しては利用者アンケートを実施しニーズに合った施設の管理運営を行うことで利用者増を図る。					
指標①	岡山シンフォニーホール(大ホール)の稼働率の確保(%)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		55.0	60.0	65.0	70.0	75.0
実績	33.7	54.8	69.3			
取組内容(2)	法人の社会的役割(ミッション)を着実に実施するため、徹底した事業見直しや内部管理業務の事務の効率化など、「不断の法人改革」を行うとともに、データやICTを活用した効率的・効果的な法人運営に向けた組織体制の強化を図る。					
指標①	法人職員のスキルアップ(専門性、機動性)向上のため、研修計画の確保					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		40	45	50	55	60
実績	27	68	122			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 情報発信、他都市施設との交流やネットワークづくり	△	取組内容(1)は、引き続き新型コロナウイルス感染症による影響があり、事業実施に至らない事業もあり、目標値を下回った。 取組内容(2)は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、公演数の増えたシンフォニーホールでのイベント情報や新劇場に関する情報などを発信し、目標値を上回った。
目標② 多世代交流、担い手育成、鑑賞機会の提供、文化芸術活動への支援・研究等の実施	△	取組内容のうち指標①は、コロナ禍においても感染対策を講じながら実施できたこと、また新劇場の開館プレ事業の実施などにより、目標値を上回った。 指標②は、スクールコンサートの実施数がコロナ禍前に戻りつつあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を下回った。
目標③ 施設の利用促進、職員のスキルアップ、法人の体制強化	○	取組内容(1)は、コロナ禍においても感染対策を講じながらイベントを実施できたことなどにより、目標値の稼働率を上回った。 取組内容(2)は、法人の社会的役割(ミッション)の実現のため、また劇場のオープン前もあり、研修の充実を図ったことにより、目標値を上回った。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題*をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>令和4年度についても引き続き新型コロナウイルスの感染による影響があり、各取組内容の目標達成が困難な状況であったが、実施内容を工夫しながら、出来る限り事業を実施した。</p> <p>今後も引き続き、各取組内容を着実に実施するとともに、徹底した事業見直しや内部管理業務の事務効率化などを推進する必要がある。</p>
--	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	一般財団法人岡山市水産協会		
基本事項			
当該団体所管課	産業観光局農林水産部農林水産課	基本財産・資本金等(千円)	250,000
出資額(千円)	230,000	出資比率	92.00%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	0	0
役員(非常勤)		2	0	8	10
正規職員		0	0	0	0
合計		2	0	8	10

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		173	△ 833	△ 55	+778
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/(純資産+負債))		99.92	99.95	99.95	±0	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料		0	0	0
指定管理料		0	0	0	
補助金		0	0	0	
負担金		0	0	0	
合計		0	0	0	
経常収益		3,898	3,900	3,900	基本財産(国債)受取利息
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和4年度の経営概況

基本財産運用益3,900千円に対し、栽培漁業の推進や漁場の環境保全、地元水産物の普及啓発活動に関する事業などの経費が3,721千円余となり、基本財産評価損益△234千円を合わせ、当期計上増減額が△55千円なったものの、前年からの繰越額を合わせて、約10,167千円を翌年度に繰り越しており、市からの財政支出に頼ることなく、健全な経営を行っている。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	設立目的に沿った事業の推進					
取組内容	設立目的にある「水産業の維持増大と漁業経営の安定等」を実現するために、関係機関と連携し、市民に地場産水産物への理解を深めてもらい、地場産水産物の消費拡大を推進する。					
指標①	PR、イベント活動等への参画回数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		6	6	7	7	8
実績	5	5	4			

目標②	基本財産の運用方法の適正化					
取組内容	基本財産の安全な運用を進め、経営の効率的な運営を図り、市からの補助金に頼らない運営に努める。					
指標①	市からの補助金額					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		0	0	0	0	0
実績	0	0	0			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 設立目的に沿った事業の推進	○	PR、イベント等への参画目標6回に対し、参画回数は4回となったが、参画予定のイベントのうち、コロナ禍の影響で中止となったものが1回、先方の都合により参画出来なかったものが1回あるほか、令和3年度に取り組んだ事業に端を発した岡山のりの新ブランド「烏城ブラック」の令和5年6月の発売に向け、岡山県漁連と連携して発売イベントを計画するなど、概ね達成しているものとみなされる。
目標② 基本財産の運用方法の適正化	◎	市からの補助金等の財政支出は0円で、健全な運営を続けている。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>目標に対して概ね達成できており、総合評価としても特に問題はない。</p> <p>今後の課題も特に見当たらない。</p>
---	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益財団法人岡山市ふれあい公社		
基本事項			
当該団体所管課	保健福祉局保健福祉部福祉援護課	基本財産・資本金等(千円)	100,000
出資額(千円)	100,000	出資比率	100%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数	市職員		市退職者		その他		合計		
	役員(常勤)	0	2	0	2	役員(非常勤)	1	3	8
正規職員	3	3	482	488	合計	4	8	490	502

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)	27,435	△ 18,525	4,414	+22,939
累積欠損金額	0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/純資産+負債)	44.8	41.1	41.2	+0.1	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)	69.6	74.4	77.4	+3.0	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	1,607,827	2,314,250	2,937,868	・放課後児童クラブ運営委託料 1,945,000 ・地域包括支援センター運営委託料 760,392 ・介護予防センター事業委託料185,125 等
指定管理料	1,086,410	1,110,996	1,130,175	・ふれあいセンターの管理運営 911,000 ・ウェルポートなださきの管理運営 139,000 ・ふれあい児童館の管理運営 77,975 等	
補助金	42,680	40,593	42,257	・ふれあい公社運営補助金 28,000 ・手話奉仕員養成事業補助金 2,928 等	
負担金	25,861	21,084	21,787	・派遣職員負担金 21,729 ・災害対応負担金 58	
合計	2,762,778	3,486,923	4,132,087		
経常収益	3,967,745	4,689,658	5,340,760		
市からの財政支出の割合	69.6%	74.4%	77.4%		

令和4年度の経営概況

前年までは制限されることが多かった事業活動がコロナ以前に戻りつつある一方、未だ介護報酬収益など減収が見られたが、費用抑制の取り組みや、主に介護保険事業での人材不足に起因する人件費の縮小などにより、事業全体で収支均衡となった。
引き続き事業運営の見直しや事務作業の効率化等により、経営状況の安定化に努めていく。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	地域の福祉力を高める					
取組内容	1 地域を支える人材の育成と活動の支援					
指標①	質の高い福祉人材の養成(福祉人材養成講座等の受講者)(単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1,974	2,480			4,000
実績	773	840	1,240			
指標②	地域を支えるボランティアの養成(ボランティア養成講座人数)(単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		375	406			500
実績	175	133	184			
指標③	認知症サポーターの養成(認知症サポーター養成人数)(単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3,648	3,786			4,200
実績	1,751	1,728	4,482			

目標①	地域の福祉力を高める					
取組内容	2 地域とつながる福祉の拠点づくり					
指標①	高齢者・障害者の通いの場づくり(高齢者・障害者対象の講座・イベント等参加者数)(単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		7,948	8,711			11,000
実績	3,692	4,037	4,911			
指標②	児童館利用者の満足度(単位:%)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		85	86			90
実績	(未実施)	87	95			
指標③	施設利用者の満足度(単位:%)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		85	86			90
実績	87	85	87			

目標①	地域の福祉力を高める					
取組内容	3 地域と取組む介護予防・健康寿命の延伸					
指標①	あっ晴れ！もも太郎体操 実施団体数(単位:団体)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		360	370			400
実績	357	392	421			
指標②	フレイル対策の普及啓発活動(単位:回)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		165	206			330
実績	(未実施)	32	66			
指標③	介護予防・健康寿命延伸への取り組み(健康づくりや介護予防に関する講座やイベント参加者数)(単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		116,331	123,498			145,000
実績	51,076	45,968	58,189			

目標②	専門性を活かした福祉サービスを推進する					
取組内容	1 福祉のコンシェルジュ機能の強化					
指標①	ふれあいセンター等での相談件数(地域包括支援センター 総合相談支援)(単位:件)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		56,552	57,164			59,000
実績	25,071	25,957	26,100			
指標②	ふれあいセンター等での相談件数(介護相談支援センター)(単位:件)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		300	350			500
実績	384	256	575			
指標③	ふれあいセンター等での相談件数(児童館 地域子育て支援拠点事業)(単位:件)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		777	782			800
実績	629	838	983			

目標②	専門性を活かした福祉サービスを推進する					
取組内容	2 地域を支える福祉サービスの提供・開発及び調査・研究					
指標①	共生型デイサービスへの移行(単位:%)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		100	100			100
実績	50	100	100			
指標②	介護保険サービスや障害福祉サービスの利用者満足度(単位:%)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		85	86			90
実績	90	91	91			
指標③	介護プラン作成数(単位:件)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		97,214	98,660			103,000
実績	97,210	100,843	100,884			

目標③	組織の実行力を高める					
取組内容	効率的な組織体制の構築、健全な経営の推進、地域福祉を担う職員の育成					
指標①	育児休業の取得率(単位:%)					
目標値(男性)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		10	10			10
実績	0	17	25			
目標値(女性)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		100	100			100
実績	100	100	100			
指標②	年次休暇の取得日数(単位:日)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		10	11			15
実績	10	10	11			
指標③	職員研修の受講(階層別研修 受講率)(単位:%)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		100	100			100
実績	85	92	91			
指標④	職員研修の受講(福祉・医療等専門職のスキルアップ研修 受講回数) (単位:回※専門職1人につき)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		6	7			8
実績	4	5	7			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価 ^{※1}	理由・備考 ^{※2}
目標① 地域の福祉力を高める	△	満足度では目標値を達成できているが、活動数・参加者数に関しては、前年からの増加はみられるものの、目標値を達成できていない項目が多くあった。
目標② 専門性を活かした福祉サービスを推進する	○	昨年度に比べ、介護相談支援センターや児童館での相談件数が増加しており、目標値の達成となった。また、介護保険サービスや障害福祉サービスの満足度、介護プラン作成数についても引き続き目標達成できている。一方で、ふれあいセンターでの総合相談支援件数においては前年からの増加がみられたものの、目標値の達成には及ばなかった。
目標③ 組織の実行力を高める	○	育児休業と年次休暇については、目標値を達成できているが、職員研修の受講に係る目標は未達となった。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。
 ※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
 また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題[※]をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>サービスの満足度については、引き続き高い水準が保たており評価できる。また、財政面でも収益の減少がみられるものの、費用抑制の取り組み等により、安定的な経営ができていると言える。</p> <p>一方で新型コロナウイルス感染症による影響が残っており、利用者や講座・イベント等の参加者数の回復に至っていない。中期計画においてもそれらの項目における目標値の未達成が目立っていることから、落ち込んだ利用者数や参加者数の回復に向けた、事業の工夫や積極的な情報発信が必要である。</p>
--	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	株式会社岡山コンベンションセンター		
基本事項			
当該団体所管課	産業観光局観光部プロモーション・MICE推進課	基本財産・資本金等(千円)	99,000
出資額(千円)	50,000	出資比率	50.50%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	2	0
役員(非常勤)		1	0	5	6
正規職員		0	0	12	12
合計		1	2	17	20

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		△ 42,657	△ 46,764	△ 2,719	+44,045
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/(純資産+負債))		92.2	89.5	90.7	+1.2	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		10.7	12.3	0.5	△ 11.8	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度の主な内容
	委託料		0	0	0
指定管理料		0	0	0	
補助金		45,670	57,080	2,710	岡山市指定管理業務継続支援金
負担金		0	0	0	
合計		45,670	57,080	2,710	
経常収益		426,976	464,412	558,516	
市からの財政支出の割合		10.7%	12.3%	0.5%	

令和4年度の経営概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、当期決算は赤字となったものの、売上に回復傾向が見られる。営業活動の強化や新たなMICE市場の開拓など、持続可能な経営に取り組むことが求められる。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	岡山市の第三セクターとして公共施策実現への貢献【公共性】					
取組内容	中四国の交通結節点という立地特性が最大限いかされるよう、中四国エリアから参加者が見込まれる催事の継続利用を確保するためセールスを強化する。					
指標①	中四国規模の催事件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		30件	30件	30件	30件	30件
実績	9件	21件	19件			

目標②	多様性の視点に立った事業展開と利用者満足度のさらなる向上【多様性】					
取組内容	アンケート調査をこれまで以上に顧客ニーズ・満足度を把握できる内容に改善し、その結果を分析した上でサービスを改善するとともに利用者に積極的な情報提供を行う。					
指標①	アンケートにおけるサービスに関する要望に応えた割合					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		50%	50%	50%	50%	50%
実績	50%	66%	60%			

目標③	岡山市及び(公社)おかやま観光コンベンション協会等と一体となったMICE 誘致・開催支援【戦略性】					
取組内容	東京、大阪での誘致セミナーの開催や地元岡山大学とのパートナーシップ等により、大学関係者など国際会議キーパーソンとのネットワークを強化するとともに、民間会社の機動力をいかし臨機応変な戦略的営業活動を行う。特に、2025年に大阪・関西万博が開催される関西圏域におけるMICE市場の動向を注視しながら、今期の重点エリアとしてタイムリーな誘致セールスを行う。					
指標①	国際会議誘致件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2件	2件	2件	2件	2件
実績	1件	1件	2件			
指標②	参加者数千人以上の催事誘致件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3件	3件	3件	3件	3件
実績	6件	2件	15件			

目標④	地域の魅力アップを支援し施設の拠点性を高める自主的取組【拠点性】					
取組内容	岡山市、岡山大学、岡山商工会議所、(一社)岡山経済同友会とともに設置した「おかやまSDGsプラザ」を継続的に運営するとともに活動の拡大に取り組む。					
指標①	プラザを活用した主催・共催事業実施件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3件	3件	3件	3件	3件
実績	1件	3件	5件			

目標⑤	変化に即応できる柔軟性とリスクヘッジを兼ね備えた強い経営【柔軟性】					
取組内容	自社物件であり収益性の高い西口パーキング長寿命化のための大規模修繕をはじめ、指定管理施設も含めた照明器具の完全LED化によるコスト削減や利用者ニーズの高い設備・備品など費用対効果の高いサービスへの投資を積極的に行っていく。					
指標①	施設LED化の達成状況					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		16%	36%	56%	90%	100%
実績	11%	16%	31%			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※ ¹	理由・備考※ ²
目標① 岡山市の第三セクターとして公共施策実現への貢献【公共性】	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主催者が催事開催に慎重になっている中での営業活動であったため、中四国規模の催事件数は目標値を下回った。岡山市、(公社)おかやま観光コンベンション協会、(株)岡山コンベンションセンターの三位一体でのコンベンション誘致を引き続き行っていく。
目標② 多様性の視点に立った事業展開と利用者満足度のさらなる向上【多様性】	◎	継続的なアンケートの実施と結果の分析により、アンケートにおけるサービスに関する要望に応えた割合は、目標値を上回った。
目標③ 岡山市及び(公社)おかやま観光コンベンション協会等と一体となったMICE誘致・開催支援【戦略性】	◎	岡山市、(公社)おかやま観光コンベンション協会と連携した会議主催者とのネットワークを強化する取組み等により、国際会議誘致件数は目標値と同数、参加者数千人以上の催事誘致件数は目標値を上回った。
目標④ 地域の魅力アップを支援し施設の拠点性を高める自主的取組【拠点性】	◎	SDGsに関する自主的な取組みを積極的に発信することにより、プラザを活用した主催・共催事業実施件数は、目標値を上回った。
目標⑤ 変化に即応できる柔軟性とリスクヘッジを兼ね備えた強い経営【柔軟性】	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で資材の調達が遅れたことにより、計画どおり工事が実施できず、施設LED化の達成状況は目標値を下回った。今後は計画に沿って着実に実施していく。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、目標を達成できなかった項目もあったが、利用者の満足度や施設の拠点性を高める自主的な取組み、岡山市・(公社)おかやま観光コンベンション協会と連携した誘致活動により、岡山市でのコンベンション開催に寄与した。今後は、新型コロナウイルス感染症収束後の施設の利用回復、利用拡大が求められる。</p>
---	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山市市場冷蔵株式会社		
基本事項			
当該団体所管課	岡山市市場事業部	基本財産・資本金等(千円)	15,000
出資額(千円)	5,000	出資比率	33.3%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	0	2
役員(非常勤)		0	0	6	6
正規職員		0	0	8	8
合計		0	0	16	16

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		8,174	1,323	△ 2,956	△4,279
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/純資産+負債)		81.0	88.7	69.8	△18.9	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	0	0	0	
指定管理料	0	0	0		
補助金	0	0	0		
負担金	0	0	0		
合計	0	0	0		
経常収益		112,704	111,996	115,748	
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和4年度の経営概況

電力価格の高騰による動力費の増加が大きく影響し、人員削減・外注費削減や収入料金の値上げを行ったものの、当期収支がマイナスとなった。寄託物の在庫量の増加を図り、効率的な運営に努めていく。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	顧客ニーズの把握に努めて売上高(稼働率)の増加を目指す					
取組内容	既存寄託者荷物の入庫の増加、新規の寄託者の開拓により、営業活動の強化をしていく。					
指標①	売上高の増加と目標値の達成 (単位:千円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		110,050	110,600	111,153	-	-
実績	111,536	110,615	113,638			

目標②	コスト削減をさらに徹底し、営業利益の確保を目指す					
取組内容	施設の適正な保守管理を行いながら、コスト削減をさらに徹底し営業利益の黒字決算を維持する。					
指標①	営業利益の黒字決算と目標値の達成 (単位:千円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3,663	6,126	3,140	-	-
実績	7,199	115	△ 3,867			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価 ^{※1}	理由・備考 ^{※2}
目標① 顧客ニーズの把握に努めて売上高(稼働率)の増加を目指す	◎	動力費増加の影響により損失が見込まれたため、寄託者の理解を得て他の冷蔵会社でも行っている保管料等の値上げを実施した。これにより全体では増収となり目標値を上回ることができた。
目標② コスト削減をさらに徹底し、営業利益の確保を目指す	△	電力価格の高騰による動力費の大幅な増加が大きく響き、外注費や人員の削減、一般管理費の節減などコスト削減に努めたが、営業損益は赤字決算となり目標値には届かなかった。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題[※]をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>世界的な燃料費高騰による動力費の著しい増加の影響を受ける中、売上高の増加のため新規寄託者の開拓や保管料等値上げの収入増の取り組みや、経費削減等の不断の努力を行っていることは評価したい。</p> <p>燃料費高騰はしばらく続くと思われるが、既存・新規寄託物の増加を図ることで安定した経営に取り組んでもらいたい。</p>
--	---

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山港埠頭開発株式会社		
基本事項			
当該団体所管課	都市整備局道路部道路港湾管理課	基本財産・資本金等(千円)	22,000
出資額(千円)	7,000	出資比率	31.8%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	0	1
役員(非常勤)		2	0	9	11
正規職員		0	0	4	4
合計		2	0	14	16

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		15,168	15,173	15,673	+500
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/(純資産+負債))		74.3	73.9	75.3	+1.4	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	0	0	0	
指定管理料	0	0	0		
補助金	0	0	0		
負担金	0	0	0		
合計	0	0	0		
経常収益		191,307	203,488	203,502	岡山県から指定管理業務委託(指定管理期間はR03~R07)
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和4年度の経営概況

効率的な施設管理ができており、経営状況は安定しているが、今後も引き続き、効率的な経営が求められる。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	安全・安心の確保					
取組内容	安全・安心の確保のための定期的な巡回監視の実施					
指標①	巡視監視回数（単位：2回／日）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2	2	2	2	2
実績	2	2	2			

目標②	公平・平等な管理運営					
取組内容	公平・平等な管理運営を行い、利用者の減少防止と新規利用者の増加に努め、指定管理業務の収入を確保する。					
指標①	指定管理業務収入額（単位：千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		174,234	174,234	174,234	174,234	174,234
実績	182,693	195,437	195,683			

目標③	利用者の声を反映した管理運営					
取組内容	利用者アンケートによるニーズ調査の実施					
指標①	利用者アンケートによるニーズ調査の実施（単位：回／年）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1	1	1	1	1
実績	1	1	1			

目標④	コスト削減を可能にする管理運営					
取組内容	指定管理業務に含まれた緑地管理及び施設修繕費（施設維持管理費）の節減					
指標①	施設維持管理費（単位：千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
実績	9,789	8,057	8,244			

目標⑤	地域に貢献する管理運営					
取組内容	岡山港（福島・高島地区）の定期的な清掃活動					
指標①	定期清掃の回数（単位：回／週）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1	1	1	1	1
実績	1	1	1			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価 ^{※1}	理由・備考 ^{※2}
目標① 安全・安心の確保	◎	適切な巡回業務を行い、安全・安心の確保に努めた。
目標② 公平・平等な管理運営	◎	公平・平等な管理運営に努め、過去最高益であった前年度から微増と目標値以上の収入増を達成した。
目標③ 利用者の声を反映した管理運営	◎	岡山県へ港湾施設使用料の減免・見直しを要望する等利用者意見の反映に努めた。
目標④ コスト削減を可能にする管理運営	◎	コスト削減に努めつつ、必要な施設修繕を行えた。
目標⑤ 地域に貢献する管理運営	◎	毎週の清掃活動や年1回の岡山港周辺地区の清掃活動等で地域貢献に努めた。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題[※]をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>計画どおりに取り組みを実施できていると認められる。公共工事による野積場の使用が好調で、前年度から微増ではあるが、過去最高益を更新し、使用料収入は堅調に推移した。常にコスト意識を保ちながら、引き続き経営の適正化を行うよう、支援・指導を行う。</p>
--	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山市土地開発公社		
基本事項			
当該団体所管課	財政局 財務部財産活用マネジメント推進課	基本財産・資本金等(千円)	20,000
出資額(千円)	20,000	出資比率	100%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	0	0
役員(非常勤)		9	0	1	10
正規職員		4	0	0	4
合計		13	0	1	14

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		△ 3,423	△ 1,138	△ 779	+359
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/(純資産+負債))		19.2	19.3	19.3	±0	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	0	0	0	
指定管理料	0	0	0		
補助金	0	0	0		
負担金	0	0	0		
合計	0	0	0		
経常収益		92,853	262,436	358,378	
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和4年度の経営概況

平成18年度から平成22年度まで実施した「岡山市土地開発公社の経営の健全化に関する計画」における目標は、平成21年度に達成し、その後も総務省が定める「簿価総額を、設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値」の基準を満たしており、経営の健全化を図っている。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	業務ノウハウを円滑に継承できる環境の整備					
取組内容	人事異動等による担当者の変動があっても、効率的、効果的な業務運営を維持する。					
指標①						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標②	長期保有地簿価の縮小					
取組内容	新たに長期保有地が発生しないよう、新規先行取得については市からの依頼が保有期間5年以上とならないよう確認する。					
指標①	5年以上保有地簿価 (単位:百万円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績	3,642	3,387	3,666	-	-	-
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標③	経営の効率化					
取組内容	当期純利益の黒字					
指標①						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績	2財務の状況 当期一般正味財産増減額参照					
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価 ^{※1}	理由・備考 ^{※2}
目標① 業務ノウハウを円滑に継承できる環境の整備	◎	集金代行サービスや月締め経理事務作業用マニュアルを作成した。集金代行サービスは今年度システム改修の予定であり、月締め経理事務システムもシステムの改修をしたばかりのため、必要に応じてマニュアルを改訂する。
目標② 長期保有地簿価の縮小	△	新たに保有5年目となった案件があるため5年以上保有地簿価については増となったが、総保有簿価については減となっており、今後も長期保有化の縮小を図る。
目標③ 当期純利益の確保	△	目標の黒字に対し赤字となっているが、市の各部局の進捗状況や年度間調整の影響を受けるものであり、長期的には黒字となる仕組みとなっている。また、前年度より赤字の状況は改善されている。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題[※]をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>総務省の第3次土地開発公社経営健全化対策において「簿価総額を、設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値を0.2以下とする」及び「保有期間が5年以上であるものの簿価総額を設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値を平成29年度までに0.1以下とする」とされているが、令和4年度末について、いずれも基準は満たされている。</p> <p>一方で、令和4年度末時点の公社保有地に占める長期保有地の割合は、依然として高く(96%)、引き続き長期保有地の縮小に向けた取組が必要である。</p>
---	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山都市開発株式会社		
基本事項			
当該団体所管課	都市整備局都市・交通部市街地整備課	基本財産・資本金等(千円)	2,950,000
出資額(千円)	1,540,000	出資比率	52.2%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		0	0	1
役員(非常勤)		2	0	1	3
正規職員		0	0	0	0
合計		2	0	2	4

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)		△ 22,400	△ 9,570	4,721	+14,291
累積欠損金額		0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/(純資産+負債))		99.3	99.3	99.2	△0.1	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)		0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料		0	0	0
指定管理料		0	0	0	
補助金		0	0	0	
負担金		0	0	0	
合計		0	0	0	
経常収益		117,852	126,004	143,506	
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和4年度の経営概況

駐車場の運営は一般駐車車の利用台数が大きく増加し、収支は2019年度以来のプラスに転じた。今後は施設の計画的な修繕が必要となるため、引き続き立地の優位性を活かして駐車場利用者の確保に努めていく。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	計画期間内での単年度黒字経営					
取組内容	駐車場及び会議室賃貸により安定的な収入を確保する。					
指標①	経常利益(単位:千円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-4,846	-3,156	-466	1,408	7,610
実績	-19,848	-9,394	6,662			
指標②	営業収入(単位:千円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		128,073	133,001	137,930	142,858	147,787
実績	116,302	124,151	141,801			

目標②	計画的な修繕等の実施					
取組内容	更新計画の策定及び実施					
指標①	修繕費等支出(単位:千円)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		15,503	21,753	21,003	21,003	23,003
実績	14,003	17,081	16,818			
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標③						
取組内容						
指標①						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※ ¹	理由・備考※ ²
目標① 計画期間内での単年度黒字経営	◎	コロナ禍による移動自粛、まん延防止等重点措置等の継続やロシアのウクライナ侵攻による物価上昇など厳しい状況だったが、駐車場利用台数は回復傾向に向かい、計画期間中で単年度黒字経営を達成した。
目標② 計画的な修繕等の実施	○	予定していたレセプションホール壁塗装及びクロス張替えが延期となったが、予定額内(目標値)に収まっており、概ね計画的な修繕が実施できた。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で当該団体所管課が評価。
 ※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
 また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、当該団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>コロナ禍による影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻による物価上昇もあり経営状況は厳しかったが、駐車場収入は、一般駐車利用台数の大幅増加により、昨年度対比約16.7%増加し、目標である単年度黒字経営を達成した。</p> <p>今後は施設の計画的な修繕が必要となるが、単年度黒字経営を続けられるよう安定的な収入確保のため、周辺同業他社の動向に注視し、新たな顧客確保に向けて営業活動を実施する必要がある。</p>
--	---

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	一般財団法人岡山市スポーツ協会		
基本事項			
当該団体所管課	市民生活局スポーツ文化部 スポーツ振興課	基本財産・資本金等(千円)	62,244
出資額(千円)	30,000	出資比率	48.20%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数	市職員		市退職者		その他		合計	
	役員(常勤)	0	0	0	0	0	0	
	役員(非常勤)	1	0	15	16			
	正規職員	0	0	5	5			
	合計	1	0	20	21			

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)	982	1,168	952	△216
累積欠損金額	0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/(純資産+負債))	84.4	82.6	87.5	+4.9	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)	85.2	83.5	85.5	+1.9	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料				
指定管理料					
補助金	42,127	40,643	45,525		
負担金					
合計	42,127	40,643	45,525		
経常収益		49,441	48,660	53,265	
市からの財政支出の割合		85.2%	83.5%	85.5%	

令和4年度の経営概況

令和元年度までは、予定された事業は概ね実施されたが、令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により多数の事業が中止になった。収入についても、新型コロナウイルスの影響を受けたが、引き続き民間助成金等の活用を積極的に行った。令和5年度以降もより効率的な団体運営を行い、岡山市におけるスポーツの普及振興に努めていく。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	職員の資質向上					
取組内容	模範となる他都市体育協会等への視察研修やスポーツ講習会等へ計画的参加					
指標①	参加人数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2	2	2	2	2
実績	0	0	4			
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標②	子どもから高齢者まで幅広い世代のスポーツの普及啓発と健康・体力づくりの推進。					
取組内容	スポーツ講習会・講演会を開催するなどして、加盟団体を中心として広く市民に情報提供する。					
指標①	スポーツ講習会・講演会参加人数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		520	540	560	580	600
実績	114	248	210			
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標③	一般市民や各種団体に対し本会の活動内容やスポーツに関する有益情報の提供					
取組内容	市民から親しまれる魅力的なホームページの活用					
指標①	ホームページアクセス数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績	18,697	25,872	15,580			
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標④	生涯スポーツの普及振興及び市民の健康・体力づくりを推進するため、魅力ある各種スポーツ大会を開催する。					
取組内容	各種スポーツ大会の開催と参加者の募集					
指標①	岡山市民体育大会、西大寺駅伝競走大会、クロスカントリー大会、岡山市総合体育大会、岡山市民ハイキングの会への参加人数。					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		18,250	18,300	18,350	18,400	18,450
実績	4,824	5,770	8,119			

目標⑤	収入の多くを岡山市からの補助金に依存していることから、事業収入（広告料、講師派遣料、講習会・講演会収入等）、民間助成金、賛助会員会費等による自主財源の更なる確保。					
取組内容	賛助会員募集 民間助成金の活用 有料事業への取り組み スポーツ少年団・団員の確保					
指標①	自主財源額					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		8,576	8,662	8,749	8,836	8,925
実績	7,253	7,927	7,689			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価 ^{※1}	理由・備考 ^{※2}
目標① 職員の資質向上	◎	第22回政令指定都市研究協議会(札幌市)へ事務局職員(2名)を派遣し、他市と議題の取組状況など情報交換を行った。また、職員研修ではオンラインで、チームワークとコミュニケーション研修などに参加しスキルアップを図った。
目標② 子どもから高齢者まで幅広い世代のスポーツの普及啓発と健康・体力づくりの推進。	△	本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、当初予定していたAED講習会、スポーツ講演会、スポーツ少年団指導者・保護者合同研修会は開催した。またスポーツ少年団活動の正しいあり方など現在問題となっている課題を解決するための研修会も開催した。参加人数について、新型コロナウイルス感染症を懸念して応募者が減少し、昨年同様に目標値に及ばなかった。
目標③ 一般市民や各種団体に対し本会の活動内容やスポーツに関する有益情報の提供	△	本協会から発信する情報や大会情報などをホームページに掲載しているが、主要大会などが中止になったことなどにより、閲覧回数が減少し、目標回数には達成できなかった。しかし、国や県からの新型コロナウイルス感染対策に関する情報や熱中症対策を迅速にホームページを活用して周知徹底することはできていた。
目標④ 生涯スポーツの普及振興及び市民の健康・体力づくりを推進するため、魅力ある各種スポーツ大会を開催する。	△	岡山市民体育大会(トラック&フィールド競技)、西大寺駅伝競走大会、岡山市クロスカントリー大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じることが難しいことを理由に中止にしたことから総参加者は減少しているが、岡山市民体育大会(11種目)、岡山市総合体育大会、岡山市民ハイキングについては、感染対策を講じながら開催し、昨年より参加者が増加しており、市民のスポーツ参加意識向上が窺える。
目標⑤ 収入の多くを岡山市からの補助金に依存していることから、事業収入(広告料、講師派遣料、講習会・講演会収入等)、民間助成金、賛助会員会費等による自主財源の更なる確保。	△	参加料などを伴う大会が中止となったことにより、参加料収入や広告料が減少した。新型コロナウイルス感染症の影響のため事業が中止となり収入が減少したことから、事業復活支援金を受けることができ、民間助成金についても積極的に活用した。またコロナ禍ではあったが、賛助会員の募集も行い、多くの団体、個人からも本協会の趣旨に賛同していただき、例年同様自主財源の積極的確保に努めた。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題[※]をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となったイベントが多数あったが、市民体育大会を分散開催、オンライン研修を受講するなど、時節やニーズに応じた取り組みを積極的に行ったことは非常に評価できる。</p> <p>ただ、大きなイベントが中止されたため、ホームページアクセス数が大幅減少となっていることが残念な点だが、新型コロナウイルス対策や熱中症対策の啓発は継続して行っており、評価できる。</p> <p>今後は新型コロナウイルス感染症対策も行い、安全を確保しながら、持続可能な事業の実施を期待する。</p> <p>財源については、助成金等の活用や、賛助会員の獲得による賛助会費収入の増加などにより、コロナ禍の中自主財源の確保に努めたが、更なる財政基盤強化のための取り組みに期待する。</p>
--	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	(公社)おかやま観光コンベンション協会		
基本事項			
当該団体所管課	産業観光局 観光部観光振興課	基本財産・資本金等(千円)	—
出資額(千円)	—	出資比率	—

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数	市職員		市退職者		その他	合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
役員(常勤)	0	1	1	0	19	20
役員(非常勤)	1	0	0	0	32	32
正規職員	0	0	0	0	52	54
合計	1	1	1	1	52	54

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)	60,156	△ 8,685	△ 570	+8,115
累積欠損金額	0	0	0	±0	0である
自己資本比率(純資産/(純資産+負債))	58.6	51.1	46.1	△5.0	50以上
財政的依存度(市財政支出/経常収益)	70.9	77.0	66.1	△10.8	前年度比減

(単位:千円)

市からの財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	287	0	0	
指定管理料	42,240	87,171	115,955	岡山城の管理運営66,784、烏城公園の管理運営22,671、足守プラザの管理運営26,500	
補助金	27,230	7,340	4,470	岡山市指定管理業務継続支援金4,470(たけべ八幡温泉)	
負担金	253,600	201,054	289,969	岡山市運営負担金289,969	
合計	323,357	295,565	410,394		
経常収益		455,794	384,050	620,719	
市からの財政支出の割合		70.9%	77.0%	66.1%	

令和4年度の経営概況

依然として、新型コロナウイルス感染症の影響や原材料・燃料費など価格高騰を受けたものの、後半にかけて収入も上がり徐々に回復傾向にあったため、一般正味財産を微減で抑えることができた。引き続き自主事業の強化とともに観光客・コンベンション誘致を強化し、他団体との良好な連携を図り、より効果的な公益目的事業の推進に取り組んでいる。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	観光客誘致を図るとともに、観光施設等の入場者の増加を図る。					
取組内容	観光資源の情報収集を行い、発信・宣伝するとともに地域の魅力、都市の知名度を向上させ、積極的に観光客の誘客を図る。また、当協会が管理する観光案内所や観光施設の来場者の増加を図り、リピート客の確保や消費拡大を通じて地域経済の活性化を図る。					
指標①	岡山市ももたろう観光センターの来場客数 (単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	35,000	78,000	78,250	78,500
実績		32,548	77,788			
指標②	岡山城天守閣の入場者数 (単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	60,000	370,000	372,500	375,000
実績		18,377	202,418			
指標③	たけべ八幡温泉の入浴者数 (単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	60,000	83,600	83,800	84,000
実績		59,786	83,506			
指標④	足守プラザ体験者数(木工・陶芸) (単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	2,300	2,800	2,825	2,850
実績		2,223	2,763			
指標⑤	備前焼工房体験者数 (単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	750	3,500	3,550	3,600
実績		186	1,735			

目標②	岡山市の特性や優位性を活かした誘致活動を行い、コンベンションの開催件数、参加者数の増加を図る。					
取組内容	コンベンションに係る情報の収集・発信、岡山市の特性や優位性を活かした誘致活動及びコンベンション主催者に対する開催支援を強化し、地域経済の活性化、都市ブランドの向上を図るべく、産官学が連携し地元MICE開催を推進する。					
指標①	国際会議の開催件数 (単位:件)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	15	20	25	35
実績		1	6			
指標②	MICE開催件数 (単位:件)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	150	225	300	340
実績		70	153			
指標③	MICE参加者数 (単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	70,000	85,000	120,000	170,000
実績		21,914	73,427			

目標③	各種研修等を通じ人材育成に取り組む					
取組内容	現地研修やオンライン研修等を通じ研修・セミナー等へ積極的に参加し、人材育成、自己啓発を推進する。					
指標①	研修等への参加者数 (単位:人)					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	45	50	55	60
実績		82	97			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※ ¹	理由・備考※ ²
目標① 観光客誘致を図るとともに、観光施設等の入場者の増加を図る。	◎	岡山デスティネーションキャンペーンや瀬戸内国際芸術祭があったものの、上期は依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受け低調であった。しかしながら下期には回復傾向に向かうとともに岡山城のリニューアルオープンなど観光客も増加傾向に推移した。
目標② 岡山市の特性や優位性を活かした誘致活動を行い、コンベンションの開催件数、参加者数の増加を図る。	○	国際会議においては、新型コロナウイルス感染症の影響がいまだ残っており、伸び悩んでいる。国内開催は徐々に戻りつつあり、予約状況を含め今後に期待がもてる状況となっている。
目標③ 各種研修等を通じ人材育成に取り組む	◎	法改正（インボイス等）を控えていることやマナー研修、SNS活用セミナー、リーダー育成研修など、現地・オンラインなど各分野で開催されたため、参加する機会も増え、積極的な人材育成、自己啓発に取り組むことができた。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等を行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に上半期は観光・コンベンション事業とも厳しい状況が続いた。下半期からは、観光需要の回復や岡山城リニューアルオープンもあり、回復傾向が見られた。</p> <p>観光需要については、国内観光、インバウンドとも回復が見込まれるため、中期経営計画の目標値の見直しを行っている。引き続き、本市の目標と当該団体の目標達成のため、本市との連携を図った事業展開を促進していく。</p>
---	---

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和4年度 中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市(所管課)が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	社会福祉法人岡山市社会福祉協議会		
基本事項			
当該団体所管課	保健福祉局 保健福祉部福祉援護課	基本財産・資本金等(千円)	46,080
出資額(千円)	0	出資比率	0%

1 役員・職員の状況

(単位:人)

役員・職員数		市職員	市退職者	その他	合計
	役員(常勤)		1		1
	役員(非常勤)		1	20	21
	正規職員			53	53
	合計	0	2	73	75

2 財務の状況

(単位:千円, %)

主要財務データ(決算)		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準
	当期一般正味財産増減額(当期収支)	10,167	1,904	△7,532	△9,436	0以上
	累積欠損金額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率(純資産/(純資産+負債))	68.4	73.1	68.7	△4.4	50以上
	財政的依存度(市財政支出/経常収益)	59.9	65.8	66.7	+0.9	前年度比減

(単位:千円)

市からの 財政支出	税込	R2年度	R3年度	R4年度	年度の主な内容
	委託料	233,305	239,259	255,332	・生活支援サービス体制整備事業89,104 ・岡山市生活困窮者自立支援事業76,410 など
	指定管理料	104,500	105,943	106,957	・児童館管理運営事業95,745 ・建部町老人福祉センター管理運営7,182 など
	補助金	189,843	208,881	222,227	・社会福祉事業補助金154,350 ・日常生活自立支援事業補助金37,500 など
	負担金				
合計	527,648	554,083	584,516		
経常収益		880,893	842,418	876,855	
市からの財政支出の割合		59.9%	65.8%	66.7%	

令和4年度の経営概況

令和4年度は創立100周年を迎え、記念事業等を行った。それに伴う支出が当期収支に影響を及ぼしたが、今後も安定した経営に努めるため平成31年2月に策定した「岡山市社会福祉協議会改革方針」に沿って、一層の支出削減や効率化を図る必要がある。

3 中期経営計画に係る取組状況について

目標①	共に助け合い、支え合う地域づくり					
取組内容	担い手の育成や地域の居場所づくりを推進し、誰もがいきいきと暮らせる助け合い、支え合う地域を目指す ・子ども食堂や学習支援、体験活動等の地域における子どもの居場所づくりを支援する。(令和2年度 35団体) ・ふれあい・いきいきサロンを市内全域での設置を目指し、助け合い・支え合いの地域福祉活動を推進していく。(令和2年度 341ヶ所設置)					
指標①	子どもの居場所の新規登録数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	6団体	6団体	6団体	6団体
実績	8団体	10団体	10団体			
指標②	新規サロンの立ち上げ					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所
実績	15ヶ所	4ヶ所	8ヶ所			

目標②	あらゆる生活課題を受け止め、寄り添う体制づくり					
取組内容	市民から寄せられるあらゆる地域生活課題を受け止め、その人の福祉ニーズの解決につながる相談支援体制の充実に向けて取り組む。					
指標①	生活困窮者自立支援事業のプラン作成件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	672件	672件	672件	672件
実績	957件	1,131件	892件			

目標③	地域で安心して生活できる支援体制づくり					
取組内容	高齢者や障害者、日常生活上の判断に不安がある方が地域で安心して生活できるよう支援体制の構築に取り組む					
指標①	障害者居宅支援事業サービス提供時間					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	29,500時間	29,600時間	29,700時間	29,800時間
実績	30,424.5時間	28,423時間	29,068時間			
指標②	日常生活自立支援事業利用者・法人後見事業受任者数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	245人・20人	245人・20人	245人・20人	245人・20人
実績	244人・17人	236人・18人	223人・17人			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標④	多種多様な団体をつなぎ・つながる仕組みづくり					
取組内容	多様な主体による地域課題解決活動を推進し、地域共生社会の実現を目指す					
指標①	災害支援ボランティアの新規登録者数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	10人	10人	10人	10人
実績	4人	21人	10人			

目標⑤	岡山市社会福祉協議会の基盤強化					
取組内容	<p>経営の安定化、人材の確保と育成・定着を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市社会福祉協議会の個人会員について、岡山市愛育委員協議会のご協力のもと、加入促進に向けて働きかけを行う。 ・複雑多様化する生活課題を受け止め、その状況を把握し、対応を判断し、地域住民と協働して解決していける仕組みづくりが図れるよう、職員のスキルアップを図る。 					
指標①	説明会・協力要請の回数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	81回	81回	82回	82回
実績	73回	80回	82回			
指標②	研修・会議の実施					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		-	7回	7回	8回	8回
実績	10回	6回	7回			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 共に助け合い、支え合う地域づくり	○	コロナ禍により、地域によっては会議や行事を自粛したり規模縮小するところもあったが、感染症対策をしっかりと行い、内容を工夫することによって活動を継続することができた。
目標② あらゆる生活課題を受け止め、寄り添う体制づくり	○	利用者が制度を横断する場合にあっても、切れ目なく支援ができるよう、支援体制を確立できるように心がけている。また生活福祉資金特例貸付利用者のうち、支援を希望される方に対してアプローチを行い、気軽に相談できるような仕組み作りを行った。
目標③ 地域で安心して生活できる支援体制づくり	○	日常生活自立支援事業については、コロナ禍により新規利用の面接が予定どおり実施できないこともあり、契約件数を伸ばすことができなかった。その為、目標指数に達しなかったが関係機関とも連携し新規利用相談に取り組んで行く。 障害者居宅支援サービスについては、ヘルパーの派遣調整や、利用者の施設入所・死亡・介護保険への移行など、双方の状況により提供時間が左右され、R4年度は少し目標まで届かなかった。今後も人材確保に努めるとともにサービス提供時間の増加に向けて取り組んでいく。
目標④ 多種多様な団体をつなぎ・つなげる仕組みづくり	○	災害支援ボランティア養成講座を行い、有事に備えた支援体制を整えている。多様な主体の中で、福祉施設や医療機関等は新型コロナウイルスへの対応を余儀なくされており、ボランティアの受入れや研修等の連携方法は課題がある。
目標⑤ 岡山市社会福祉協議会の基盤強化	○	今後も会員加入促進に向けて働きかけを行うとともに、研修の実施により職員のスキルアップを図っていく。

※1…令和4年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。

※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

<p>中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。</p> <p>また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。</p>	<p>最大の課題である赤字会計の立て直しについて、令和4年度は創立100周年記念関連事業を実施した関係から収支に影響を及ぼしたが、引き続き中期的な計画の中で全体的な見直しを進め、財政基盤の強化を念頭に一層の支出削減や効率化を図る必要がある。</p> <p>社協が本来果たすべき地域福祉活動の充実を図るため、長期的に安定した運営ができるよう、計画的な職員採用や職員研修を進めるとともに、地域福祉の推進に関わる人員や関係機関との連携を深めていくことが必要。</p>
--	--

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的な評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。